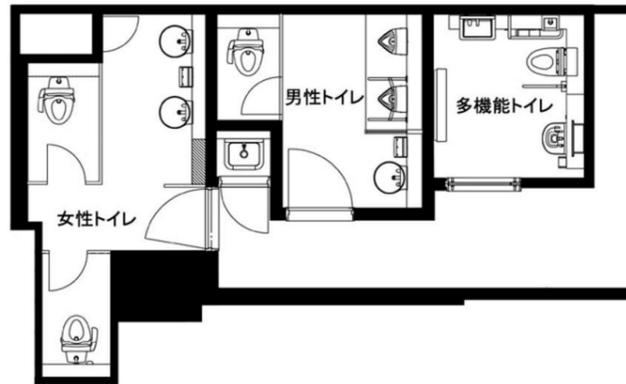


## 外観



2014年3月に京阪くずは駅ビルと駅ナカの全面リニューアルを完了。樟葉駅を利用されているお客さまの利便性を考慮し、個人向け・クイックリサービス型テナントの一層の集積を目指している。

## 2F トイレ図面



## 2F 男性トイレ 全体



タイルの凹凸と間接照明が織りなす光の演出が効果的な男性トイレ。ダークブラウンと白を基調としたシックで落ち着いた空間。

## 2F 男性トイレ 小便器コーナー



小便器は床の清掃性や節水性に優れ、小さなお子様から大人まで使える壁掛式の低リップタイプ自動洗浄小便器を採用。

## 2F トイレ エントランス



壁面に白いタイルを張ったエントランス。質感にこだわった温かみがあり落ち着いた空間。

## 2F トイレ 入口



多機能トイレの入口には、トイレ内の設備がひと目でわかるサインを空間デザインと調和させた意匠で掲示している。

## 2F 男性トイレ 大便器ブース



環境に配慮し大便器は、4.8L洗浄のウォッシュレット一体形便器を採用。大便器後方のライニングの棚や棚付二連紙巻器は、荷物の一時置きスペースとして利用できる。

## 2F 多機能トイレ



デザイン性や機能性を兼ね備えたRESTROOM ITEM01のフラットカウンター多機能トイレバックを採用。車いす使用者やオストメイト、小さなお子様連れにも配慮し、汚物流しとベビーシートを備えている。

## 2F 女性トイレ 洗面・パウダーコーナー



周囲への水はねを防ぐ形状の壁掛自動洗面器を採用。洗面器の間にクリーンドライを設置し、手洗い後の床への水垂れも抑えている。洗面器コーナーの隣はパウダーコーナーとなっている。

## 2F 女性トイレ 大便器ブース



白い石材調のタイルとナチュラル系の木目調パネルを組み合わせた温かみのある空間。大便器ブースの間仕切り壁を天井まで立ち上げ、防犯対策を図るとともに個室感を高めている。

## 建築概要

名称	京阪くずは駅ビル
所在地	大阪府枚方市樟葉花園町14-1
施主	京阪電気鉄道株式会社
設計	<基本計画> 株式会社リックデザイン <基本・実施設計> 株式会社大林組
施工	株式会社大林組
竣工年月	(改修)2014年3月

## 水まわりの特長

### <改修の経緯>

京阪グループの経営ビジョンにおいて「くずは地区」は最重点開発地区と位置付けられている。京阪電気鉄道株式会社と株式会社京阪ザ・ストアは、樟葉駅前に「京阪くずは駅ビル南館」を2013年3月にオープンし、2014年3月に「京阪くずは駅ビル」と駅ナカ店舗との一体リニューアルを完了。樟葉駅を利用されるお客さまをターゲットに、駅ビル2棟と駅ナカで個人向け・クイックリサービス型テナントの集積を行い、「くずは地区」の更なる利便性の向上を目指している。くずは駅ビルと駅ナカのリニューアルに当たっては、ビル自体の耐震補強も兼ね、「くずはの街」の玄関口にふさわしいように、全面的なリニューアルを行った。

### <トイレの特長>

京阪くずは駅ビルトイレは、ドアやブース材に木を、床や壁に石材を使用するなど、自然素材の趣を生かした上質感のある洗練されたモダンテイストの空間。大便器・小便器・手洗器・クリーンドライなど、機能性にも優れた先進の機器を採用。照明も間接照明や暖色系を使用し、優しさと心地良いヒューマンスケールの空間を演出している。